言えと

考え方

で答えてもかまいません この本では、文章の中のことばを正かいとしています。にた言い方のことば

に読みましょう。 考え方や注意点などです。答え合わせをするときに、 いっしょ

〉や※はほかの答え方です。

-)は答えに書いてもよいものです。
- の答えでは、 にた内ようが書ければ正かいです。

二年生のふく習つ

3

5・6ページ

漢字の読み書き1

(2)

(1)夏・秋

(1)

申 皿

(4) 世

(5) 区

(1)

(2)

め

おも

ル・南・ 西・東

(3)兄・父・

3

(1) 化

(2) 写 (7)去 (2) 丁

(3) 反 (8) (3) 血

(4)

(6)

(1) 主人

(5)番号

(6)写真 (2) 用事

(7) 他人 (3)予算

(8) 反対 (4) 中央

(9)世界

※1)~(3)は、それぞれじ

がちがってもよい

少ない (2) 売る

(3)近い (4)新しい

(1) エジ アンデルセン

(2) スプ ヨッ

(3)ポチ

(4) は、 それぞれじ

がちがっ てもよい

二年生のふく習(2)

(1)()(ぐんぐん) くらく

② ス ー ホが帰っ

(2) (近くにすむ)ひつじ

(3)生まれたばかりの、 小さな白い 馬。

(4)じめんにたおれて ※「馬」「白い馬」などでもよ もがいてい た。

(5)一おかあさん馬

②おおかみ

(6)①雪のように白く

(4)

②引きしまって

フ・8ページ 漢字の読み書き1

(1)きょく ま

(2)す

(6) (7) 羊 (8) 死

(1) 礼 (2) 打 (3) 氷

(4) 皮

(5)

()

せん

向 (2) (3) 守 (4)全

(1)

(5) 九州 時代 (2)公平

(6) 有名 (7)両手 (3)自由 (8)安全 (4)作曲

(9)電波

5 かんせいテスト 漢字の読み書き(1)

(1)代わ (4)平ら (5) 仕える (2)向こう (6) 全く (3)反らす

2 (1) (2)主 <u>3</u> 友・有

Ш (5) 守 (6) (3)波

漢字の読み書き(3)

(2)

ぜんしん

2 (1) 柱 とざん とうこう (2) 局 (3) 住

(3)

(4)

(1) 客

(3) 県

けってい

(4) 君 (5) 豆

3

(1) 急

(2) 放

(3) 送

(6)

(7) 持 (2)味

(8) 待

(1)屋内

(4) 決

(1)

(2) 助

(3) 投

4 (1) 列車

(2) 予定

(5) 役目

(3)身長 (4) 委員

(7) 注文 (8) 医者

(6) 研究

漢字の読み書き(2)

おもて

だいどころ

ひょうし (2) 実 (3) 板 (2) じゅうしょ (4) 服

2

(5) 品

2 (1) 昔

(5) 苦

(3)体育 (4) 幸 (5) 表

3 (1) 泳

(2) 受

(3) 苦

(6) 岸

(7)福

(8) 取

4 (1)返事

(2) 坂道

(5) 原始

(6)場所

(7) 発表 (8) 使用 (4)道具

(1)泳ぐ (2) 決める (4) 苦しい

(5)助ける (6)幸せ

2 (1)

(2)

2 (1)

(2)

者

返

(2)

(3)表す

漢字の読み書き(2)

(1)急ぐ (5)美しい (3)重ねる (2)負ける (4)味わう (6)温める

漢字の読み書き3

19・20ページ

~ おも たいじゅう

(1)

(1) 炭 (6) 拾 (2) 相 (7) 勝 (8) 秒 (3)畑 (4) 追

(2) 重 (3) 美 (4)

3

(1) 負

(6)温度 (2) 乗客 (3) 予想 (4) 洋服

(8)相談

(5)神社

(9)勝負

(1) 地面

(7)商品

漢字の読み書き(3)

(6) 着物

(9)指定 (5) 係員

> (2) 油絵 (7) 意見

(8) 昭和

(3) 学級 (4) 荷物

(2) ほ う そ う (4) 着 (4)(5) 指

©くもん出版

(4)

(5)

注 住

(3)

(4)

待 追 送 (2)

(3)

(2)

洋 羊 (1)

商

15

漢字の読み書き(5)

しんぱ ば

(1) 息 (2) 島 11

(2)

ゆう

もん

か

しき

(2)

2

じょうり

(4) 酒

(1) 歯

(3) 階

(4) 葉

(5) 湯

(6) 遊

(8) 湖

(3) 根

(8) 庭

(5) 倍

(3)校庭 (4) 配

3

(1)植

(2) 落 (7)港 (2) 飲

(3) 悲

(4)

(5)短

(6) 開

(7) 寒

(8) 暑

3

(1)

流

(2) 起 (7) 速

(3) 悪

(6) 宮

(8) 旅行 (4)文庫

(1)太陽

(2) 学期

(3)問題

(4) 空港

(5)部品

(5)消火 (1)野球

(6)勉強 (2) 家族

(9) 病院

(7) 大根

漢字の読み書き4

(1) 笛 みやこ つごう (2)

うご

(2) 習

3

(1)祭

(2) 終 (7)転

(3) 深

(4)

3

(1)

(6) 館

(7) 薬

(8) 緑

(6) 軽

(8) 等

(1) 文章

(2) 行進

(3) 第

(4) 進

(5)筆

(3)都会 (4) 童話

(8)運転

(9) 農場

(5)手帳

(6)練習 (7)自動

(9) 宿題

漢字の読み書き4

る

(2)起きる

(3) 悲し (1)植える 33・4・ビいテスト 34・ページ (2)集まる (4)整える

漢字の読み書き5

(3)明る (1) 短 (2) 暗 い (4)寒い

(2)葉

漢

3

 $\overline{(1)}$

(2)

(5)

(6)

(3)

童 島

(3)

(4)

鳥 酒 配 **2** (1)

(2)

商

(5)暑い

(6)開ける

消

(5)深い (3)祭り (1)終わ

(6)等し

11

(4)流れる

歯 部 (4)(2)(3)陽 薬 楽 開

漢字の読み書き5

16

(1) (1)鼻 はし ほどうきょう (2) 箱 (3)詩 (4) 駅 (2) (5) 横

(5) 漢字 (1)作業 (2) 整 (2) 王様 (3) 調 (3) 感想 (4)薬局

91

(6)銀行 (10)整理 (7)道路

(8) 鉄橋

18 ・ふつうの言い方とていねいな言い方・文の組み立て

犬が (2) 花が (3)からすは

(4)森は (5) ねこが

2 (1) 行く (2)大きい (3)

(4)買う

3 (1)(2)小木 ②石 ③服

①光る 2 ふる ③歩く

(1) (3)か 調べます わります (2)書きます (4)歌いましょう

5 ません

。パージェー

つ

ば

8

が

とんできた

・ふつうの言い方とていねいな言い方・文の組み立て

(3) 弟は (2) 女 0 人が 見った 乗ってきた

上が主語 下 が述語。

か だ (2) 鳴 つ た

(3)お あ ざん

ŧ

(2)

お

月さま

(1)遊 ました (2)取 つ

5

(1

4

(1)

(3)わ ました (4)行きま ょう

(5)図書館だ (6) 知 ません

・国語辞典の使い方 ・なかまのことば ・なかまのことば 2

(2) 魚

(1) りんご 野さい (2) ぶどう (3)ケ

丰

(1)と(2)は反対でもよ

お かし

3 (1)おし出す (2)切 り分ける

(3)起き上がる

4 (1)

3

5 (1) Ż (2)遊ぶ

(3) 高 11 (4)うれ

11

ことばのきまり② つなぎことば、こそあどことば

(1) か (2)だから

(3)しか

2 (1) れ (2) れ いとつぜん、 上手に書けるように 雨がふ つ なっ てきた。 た。

3 (1)そこ (2) その

4 (1) 港 (2)水族館

(3) んとう箱(の) ・つなぎことば、こそあどことば ・なかまのことば・国語辞典の使い方 ことばのきまり(2) 4 11 0

(1)生き物 (2,

(3)ひら (4)さんま

% (3) 2 (4 は反対でもよ

(5)かも

向か 合う (2)進み始める

(3)転げ落ちる

2

(1) 3 2 (2)3

すると

小さなあな (2 また

(3)

前

- ، ۱۲
- あね かね
- (3) もーいもーひも
- 2(1)かえる (2)さくら
- (3)いしゃ (4)ちゃわん
- (5)ふうせん (6)らっぱ (7)おもちゃ (8)にんぎょう
- $\begin{array}{c} \mathbf{3}(1) \left\{ \begin{array}{ccc} (\bigcirc) & (2) \left\{ \begin{array}{ccc} (\) \\ (\) \end{array} \right. \\ (3) \left\{ \begin{array}{ccc} (\) & (4) \left\{ \begin{array}{ccc} (\) \\ (\bigcirc) \end{array} \right. \\ (5) \left\{ \begin{array}{ccc} (\) & (6) \left\{ \begin{array}{ccc} (\) \\ (\bigcirc) \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right.$

- 2
- $\widehat{\omega}$ 「shippo」でもよい。
- 「dôbutsu」でもよい。

ポイソァ

まりはないよ。 ローマ字の書き方や線のはばに決

花火

・ローマ字

ずっぱ。

- 外国 学校 **(**1)
- **2**(1)**ウ** (2)**イ**
- 3 (1)めがね (2)とうふ

0.0

- (3)ほんや
- (5)とびばこ (4)ひこうき
- (8)につぼん (6)おおさか

(7)はらっぱ

- [densha]でもよい。 densya
- 2 otôsan
- (ω)
- 4
- (5)
- 6



(2)

(4)(5) (6)

2 (1) (4)使お 使え (2) 使 (5)使わ (3)使っ

3 (1) 植 (4) 暑 (5) (2) 昭 (6)運 (3) 箱

(1) 暗 (3)(1)(5)は、 速・返 始 読 (4) 形 それぞれじゅ (2)荷 助 笛 (5) 庭·

がちがってもよい ・漢字の組み立て・送りがな

か (2) まじ ま

にが くる (4)おも かさ

(3)

短かく (2)全たく (3) 美く

(1)晴•昭 (3) 答・ 笛 曜 (4) 通 (2) 細 線·終 道・運

4 (1) 人 (2) 木 (3) 水 (4) 手 (5)13

・話題と中心

(1) P (†) . I

ゅ んじょはちがっ

10

(1) **1** 0

(2) ねる前(に、 明日の発表会で)

(3)

作文の書き方⑴

(1) ウ

10

(2) : (†)

2 T I

3 :: (1) ※反対でもよ

11

(3) **1** (4) ? : 4 ⟨₁⋮[5]

・文章の組み立て (†) : 2

(<u>I</u>)

29 (1)本箱作り (2) (†)

(1) (7) (7) **★★(1)**

(2)かるた (3) • •

・文章の組み立て

30

(T) (T)

② : ? 1 ※反対でもよ 11

3 :: (H)

(2) T: 2

(1) :: 3 • 4 ※反対でもよい

<u>H</u>...

(**3**)

(4)お くらまんじ ゅう 馬とび

(5) ちが こま回し

物語の読みとり1

場面の様子

(2)おとや かんばん

3) 一できたて 4野うさぎ

2

11

11

(5) ぶなの森

(6) 下 2 つ

物語の読みとり1 ・場面の様子

(1) ①できたて ②すてきな

(2)森中 木。 の木の 中 から、 えりす 0

(3)野う źぎ

(4)きつ つきの さし出 したメ ユ 0

(5) (5) な ②四分音符分

(6)きつつきを見上げて、 なず つ 1)

た。

33

・人物り記号: 人物の気持ち

(1)れいひみ つきちに一人で 11 か

(2) ア 10

(3) 一岩 ②女の子

(4)(まるで)本当に馬に乗っ 7 11

みたいだ(と思った)。

(5)かっこよく乗れた(と思 つ た

34 物語の読みとり2 人物の気持ち

①女の子 〈あの子〉 ②会える

(2 10

(3) れ 返事にこまる様子。

(4) ウ 10

(5) つのまにか)黒い 馬に乗っ 7 1)

た。

35 69・70ページ ・人物の気持ち物語の読みとり 人物の気持ち

(2 チ 3 0 か

い足首が

いたか

7

たから

チョコレ

(3)れいうれ か つ たから。

ポイント

子の気持ちが、とてもうれしかっを心配してやってきてくれた男のはなかった。けれど、自分のこと たんだね。 チョコレー トがすきで

(4)10

(5) れ 院すること。 い お母さんが あ したサ もうじきたい カスを

見に来ること。

※じゅんじ ょはちが つ

(6) ウ 10

(7) 1 0

36 ・文章の内ようと組み立てせつ明文の読みとり(1)

(1) ①数字 ②記号

(2)電話の市外局番

(3) <u>5</u>

(4) 道路 V よう しきや点字ブ 口 ッ 7

(5)地図に使われる記号

(6 (1 2わる

37

パページ ・文章の内ようと組み立て

2

(2)どの地い きか

3 (1)じょうほう ②かんたん

(4) み んながあんぜ するため。 んに通行できるよ

(5) ア 10

6言葉で書き表すより たほうがべんりだという点。 記号を使

38 75・76ページ せつ明文の読みとり2 ・まとまりと要点

日目 ②助ける

(2) 6 ※反対でもよい

(3)使っている人にとってきけんな命 令。

(6) 生活 (4) ウ 10 (5)約三か月から半年

39 かんせいテスト1 ・まとまりと要点

(1) - さい (2)一自動車 ②進め

(3 5 (4) ウ に〇

(5) いつ しょに生活し、 11 つ しょに町

を歩く練習をする。

せつ明文の読みとり② ・まとまりと要点

(1) (1) たね 2 さ や

(2)れい大豆はかたい では食べにくく、 消化もよくない ので、 そのまま

から。

(3) 2 3 (4)とうふ

(5) ア **1** イ **4** ウ **3** 工 **2**

(6) れい大豆は、 味がよく、 たくさん

のえいようをふくんでいるから。

41 81・82ページ 81・82ページ

詩の読みとり

(1)5(行目~)8(行目)

(2) ア 10

2 (1) 9 (行目~) 12 (行目)

(2)太陽(夕日)

(3)れい十五(15)行目、 目と全く同じ。 十六(16)行

> 42 詩の読みとり

1) 少なにかひとつを

②わかってくる

(2) **ウ** 10

2 (1) (1) 夕日 ②ぼくら〈子どもたち〉

(2) **1** に〇

(3)ぼくらが〈子どもたちが〉、 夕日

(太陽)に言っている。

43 85 ・86 ページ 仕上げテスト1

1 (1) 実 (2) 者物 (3) 葉 歯 (4)

明

2 (1) 犬が・ ほえだした

(2)先生が・せつ明した

(3)女の子が・買った ※上が主語・下が述語。

3 (1) 公園 (2) 流 れる (3) する

4 1) 友だちの家 (2)ボール

(3オムレツ

5 (1)植えて (2)拾って (3) 短 ()

87 88 ページ 仕上げテスト2

(1)れいじさまがうなる (2) 1 10 0

(3)れいはらがいたかったから。

(4)ア (C (5)真っ白い霜〈霜〉

6足からは血が出た。 豆太は、 なき

(7)れい大すきなじさまの死んじまう なき走った。

8れいじさまが、 ほうが、もっとこわかったから。 いそうな気がしたから。 なんだか死んじま

(9)れい月が出てるのに、雪がふ ている。 めた。・モチモチの木に、 ※反対でもよい 灯が ©くもん出版